

(資料3) 平成元年度、2年度の法定伝染病関係検査成績

微生物課 臨床検査係

平成元年4月から3年3月までの2ケ年において、2603件の法定伝染病関係の検査を実施した。検体は主に変法Amie倍地（シンテック、トランシステム）に採取した便、咽頭拭い液で、アメーバ赤痢の場合は排泄便および血清（抗体検査）を用いた。検査は、検体搬入時に原因が特定されている事例では、その菌種を対象として行い、疑似の症例および海外旅行者では食中毒菌を含めた腸管系病原菌を対象として実施した。

両年度の経過者検便87件を除いた事例の概要と検査成績は下表に示すとおりであった。当所に検査依頼があった事例のうち福岡市内で真性患者の発生があった事例は28例で、細菌性赤痢17例、アメーバ赤痢2例、チフス3例、パラチフス4例、コレラ1例、流行性脳脊髄膜炎1例であった。大規模な集団発生は、児童養護施設において発生した*S.sonnei*による集団赤痢1例のみであった。

細菌性赤痢は、*S.sonnei*によるものが最多で11例あり、他は、*S.flexneri*が3例（1b, 3a, 6）、*S.dysenteriae*が3例（4, 7, 不明）であった。このうち*S.sonnei*の4例が国内で感染したと考えられたが、感染源は不明であった。その他の細菌性赤痢は全例海外由来で、特に平成3年1月下旬にインドネシア（バリ島）への複数のツアーから赤痢が発生し、本市内でも*S.sonnei*によるものが2例、*S.flexneri*によるものが1例と相次いだ。1例は病院で1名から*S.sonnei*が検出されたため調査したところ、同行者12名の内2名から同菌が検出された。さらに福岡市近郊ではバリ島ツアー後*S.boydii*による赤痢も発生している。

また、周辺市町村で伝染病が発生し、本市内の勤務先等の検査を実施した例が6例あり、その内訳は細菌性赤痢3例（*S.flexneri* 3a, *S.sonnei*, 不明）、アメーバ赤痢2例、チフス1例であった。

受付日	届出区分	概要	検査成績
H. 1. 4. 6	真性赤痢	東区の児童養護施設（職員30名、児童87名）で、 <i>S.sonnei</i> による、真性患者39名の集団赤痢が発生した。（詳細は報告済み 本誌vol.15, 110-113, 1990）	施設職員および児童のべ528件中25件より <i>S.sonnei</i> 検出 患者家族のべ31件、患者同級生および教師のべ600件、 帰省先接触者のべ6件全て（-）
1. 4. 18	真性チフス	S.63.12.1発生事例（東区）の、 <i>S.ParatyphiA</i> 経過者検便（3回目）にて、2名中1名より同菌検出	経過者2名中1名より <i>S.ParatyphiA</i> 検出、患者家族3名のべ6件（-）
1. 4. 28	真性赤痢	西区の42歳男性が、4月22日から26日までのシンガポールツアーに参加。25日夜から下痢があり、帰国時検疫所で検査、 <i>S.sonnei</i> が検出された。	患者家族4名（-）
1. 5. 8	赤痢疑似 （海外旅行者）	南区の給食関係に従事する女性が、4月29日から5月6日の中国ツアーに参加し、下痢症状があった。8日の現在症状はないが、念のため検査を依頼。	本人のべ2件（-）
1. 5. 11	真性赤痢	4月15日から21日までのタイツアーに参加した東京都の女性が21日発症し、5月2日医療機関に受診、10日 <i>S.sonnei</i> 検出の連絡。	同行者1名（-）
1. 5. 22	真性赤痢	早良区の61歳女性、5月10日から19日までバン格拉デイシュに滞在。19日より下痢、発熱があり、20日近医を受診。22日近医の紹介で来所。23日疑似赤痢で収容、24日 <i>S.flexneri</i> 3a検出。	本人より <i>S.flexneri</i> 3a検出

受付日	届出区分	概要	検査成績
1. 6. 14	真性赤痢	福岡市内の仏具会社営業所が主催した6月7日から11日のインドツアー参加者3名（55歳女性、47歳男性、44歳女性）が10日頃より下痢、腹痛、発熱を訴え空港検疫所（大阪）で検便、 <i>S.dysenteriae</i> 4が検出された。	同行者5名のべ6件中 1件から <i>S.dysenteriae</i> 4検出、5件（-） 患者家族9名のべ21（-） 接触者14件（-）
1. 6. 23	赤痢疑い （海外旅行者）	早良区の46歳男性、6月17日から21日までシンガポール、インドネシアに旅行。21日より下痢腹痛があり来所。	本人のべ3件（-）
1. 6. 29	真性赤痢	大野城市の男性が真性赤痢のため接触者検便の依頼。	接触者2名（-）
1. 7. 7	真性赤痢	岡山市の女性が6月29日から7月4日までバリに研修に行き、7日 <i>S.sonnei</i> が検出されたため同行者の検査依頼。	同行者1名（-）
1. 7. 13	真性チフス	城南区の12歳男児、1ヶ月ほど前から発熱が続く数カ所の病院を転々としたが、7月13日便から <i>S.ParatyphiA</i> が検出された。	ペット糞便2件（-） （ハムスター、インコ）
1. 7. 25	真性赤痢	南区の23歳女性が7月19日から23日のインドツアーに参加、下痢症状があり、大阪検疫所で検便25日 <i>S.sonnei</i> 検出の連絡。	本人より <i>S.sonnei</i> 検出、同行者1名（-）、患者家族2名のべ8件中2件より <i>Salmonella</i> 03, 10群検出、7件（-）接触者1名のべ4件（-）
1. 8. 4	赤痢疑い （海外旅行者）	城南区の医学部学生2名が、7月26日から8月2日までインド旅行し、29日より下痢があり抗生物質を服用した。	海外旅行者2名中1名毒素原性大腸菌（ST+, UT）検出、1名（-）
1. 9. 7	真性赤痢	北九州市の43歳の男性が8月23日から26日のタイツアーに参加後、29日腹痛、下痢、発熱で入院。9月6日 <i>S.sonnei</i> 検出の連絡。	同行者2名（-）
1. 9. 9	真性コレラ	名古屋NTT会館で発生した集団コレラ事例接触者（原因と思われる幕の内弁当喫食者）の調査依頼。	接触者1名のべ3件（-）
1. 9. 19	赤痢疑い （海外旅行者）	早良区の42歳男性が9月13日から17日までフィリピンへ旅行、17日から腹痛、水様下痢があり来所。	本人（-）
1. 10. 3	赤痢疑い （海外旅行者）	早良区の建設会社社員270名が9月29日から10月1日までフィリピンに旅行し、多数が2日から下痢嘔吐、発熱を訴え、医療機関を受診した。	海外旅行者25名中1名より腸炎ビブリオ検出、1名より病原大腸菌（0152）、1名より同（0128, 0142）検出、1名より <i>Campylobacter</i> 検出21名（-）
1. 10. 6	真性赤痢	9月23日から27日までのシンガポールツアーに参加した久留米市の女性から <i>S.sonnei</i> 検出の連絡。	同行者2名（-）
1. 10. 24	疑似赤痢	10月20日から22日まで韓国に旅行した博多区の男性が、23日出張先の群馬県で腹痛、下痢のため疑似赤痢で収容された。	患者家族3名（-）

受付日	届出区分	概 要	検 査 成 績
1. 11. 8	赤痢疑い (海外旅行者)	城南区の50歳男性が11月3日から7日までタイ、香港に旅行し、7日から水様下痢、腹痛があり来所。	本人より <i>Salmonella</i> 07群および01, 3,19群検出
1. 11. 20	真性コレラ	フィリピン旅行者が真性コレラの連絡	接触者2名(-)
1. 12. 4	赤痢疑い (海外旅行者)	中央区の22歳男性が、宗教団体の難民視察団の一員として11月27日から12月2日までタイ、バングラディシュ、インド、シンガポールを旅行。12月1日(シンガポール)より腹痛、水様下痢があり4日近医を受診後、来所。	本人より毒素原性大腸菌(ST+, 0148)検出
1. 12. 15	真性チフス	東区内の食品会社に勤務する朝倉郡の社員が韓国旅行後 <i>S.Paratyphi</i> A発症の連絡。	同僚51名(-)
2. 1. 8	赤痢疑い (海外旅行者)	博多区の32歳男性が1月1日から6日までフィリピンに旅行、帰国後水様下痢があり来所。	本人(-)
2. 1. 11	真性チフス	博多区の32歳男性医師が1月7日より発熱、11日血液より <i>S.Typhi</i> 検出の届出。	家族1名 便(-) 血液(-)
2. 1. 30	真性赤痢	宗像市の男性が下痢が続くため入院していたが、原因がわからず転院、転院先で <i>S.flexneri</i> 2a検出同時に患者の孫からも検出の連絡。調査の結果、看病に当たった東区に住む次女が27日より発熱、28日より水様下痢の症状があることが判明し、30日疑似赤痢で収容された。	患者(疑似)家族1名のべ2件(-) 接触者1名のべ2件(-) 同僚10名(-)
2. 2. 5	赤痢疑い (海外旅行者)	早良区の70歳の女性が1月25日から2月1日までスリランカに旅行、31日より軟便があり5日黒色の便が出たため相談に来所。	本人(-)
2. 2. 5	真性赤痢 (アメーバ)	那珂川町の42歳の男性が、1月20日頃から悪寒を覚え22日近医を受診したところ風邪と診断された。 23日より発熱、食欲不振、27日頃から茶褐色の下痢が始まり31日総合病院に受診した。エコーで肝右葉に直径15cmの腫瘍が見つかり、ドレナージで300ml以上排腫した。腫汁中に赤痢アメーバの栄養型が確認され、血清抗体価の上昇も認められたため赤痢アメーバ症と診断された。(詳細は報告済み 本誌vol. 15, 105-109, 1990)	同僚31名(-)
2. 2. 19	真性チフス	早良区に住む運送会社社員28歳男性、2月9日発症17日 <i>S.Typhi</i> 分離、当所に血清型確認の依頼があり、19日確定した。	患者家族3名のべ6件(-) 同僚16名のべ31件(-)
2. 2. 21	流行性 脳脊髄膜炎	東区の医師の子供が、 <i>N.meningitidis</i> による髄膜炎を発症し家族の検査をしたところ全員から同菌を検出したため、この医師の同僚及び担当患者の検査依頼があった。	保菌者の接触者70名(-) ※咽頭拭い液
2. 2. 21	真性赤痢	南区の鮮魚店経営者の長男(6歳)より <i>S.sonnei</i> 検出の届出。	本人(-) 家族4名のべ12件(-) 接触者5名(-) 保育園277件(-)

受付日	届出区分	概要	検査成績
2. 3. 12	赤痢疑い (海外旅行者)	中央区の21歳の女性が、3月7日から11日タイに旅行し、10日プールの水を呑んだ。同日夜より嘔吐下痢があり、12日現在も水様下痢が続いている。	本人より毒素原性大腸菌 (ST+, 0159) 検出
2. 3. 19	真性赤痢	西区の5歳の女児が3月13日より下痢があり、14日近医を受診し、19日 <i>S.sonnei</i> が検出された。	患者家族3名(-) 保育園関係49名(-)
2. 3. 23	赤痢疑い (海外旅行者)	中央区の23歳女子大生が、3月10日から21日までインドに旅行し、16日から下痢、腹痛があった。	本人より毒素原性大腸菌 (ST+, 0148, UT) 検出
2. 3. 28	疑似赤痢	3月17日から25日までのインドツアー参加者(佐賀県)が疑似赤痢との連絡。	同行者1名より 毒素原性大腸菌 (ST+ 0128) 検出
2. 4. 3	真性赤痢	東京都の35歳の女性が3月1日から24日までインド、ネパールに旅行後 <i>S.sonnei</i> 検出の連絡。	同行者1名(-)
2. 4. 10	真性赤痢	太宰府市の36歳の女性が3月30日から4月2日までのホンコンツアーに参加し、2日発熱、下痢で発症、3日入院した。7日 <i>S.sonnei</i> が検出され、福岡市内に勤務する夫からも13日同菌が検出された。	同行者5名中1名より毒素原性大腸菌 (LT+, 0159) 検出、4名(-) 同僚6名(-)
2. 4. 11	疑似コレラ	京都府の男性が4月6日から9日まで中国ツアーに参加し、10日発熱下痢のため疑似コレラの連絡。	同行者1名(-)
2. 4. 12	赤痢疑い (海外旅行者)	博多区に勤務する37歳の男性が、4月7日から11日までホンコンに旅行後、腹痛と水様下痢があるため相談に来所。	本人(-)
2. 4. 20	赤痢疑い (海外旅行者)	太宰府市の21歳の男子大学生が2月末頃から4月17日まで大学の調査隊でネパールに行き、10日目頃より水様下痢と軟便を繰り返している。投薬しても効果がないため病院から検査依頼。	本人より毒素原性大腸菌 (ST+, 06) 検出
2. 5. 2	疑似赤痢	東区の児童養護施設で、多数が発熱、下痢、嘔気を訴え、疑似赤痢で隔離された。	施設職員及び児童76名(-)
2. 5. 12	真性チフス	博多区の58歳の男性が、5月7日S状結腸ポリープ除去術および胆石の手術を受け、11日胆汁より <i>S.ParatyphiA</i> が検出された。	家族2名(-) 接触者2名(-)
2. 6. 10	疑似赤痢	中央区の住民1名が疑似赤痢の届出(詳細不明)	患者家族3名(-)
2. 6. 19	真性チフス	早良区の21歳の男性が、6月12日より発熱し15日入院、19日血液より <i>S.Typhi</i> が検出された。患者は現在の会社に勤める1年半程前までは漁船の乗組員であったが、外国には渡航歴がなかった。	患者家族5名のべ10件(-) 接触者2名(-)
2. 6. 21	真性チフス	粕屋郡の4歳の女児が、5月30日より発熱し6月7日東区の病院に入院、11日疑似チフスの届出、12日血液より <i>S.Typhi</i> 検出の届出。	接触者(入院中同室者)3名(-)
2. 6. 22	真性赤痢	早良区の3歳の女児が <i>S.sonnei</i> による真性赤痢で、その母親が疑似赤痢の届出。収容後、感染症センターで母親からも <i>S.sonnei</i> が検出された。	患者家族1名(-) 接触者5名(-)

受付日	届出区分	概要	検査成績
2. 7. 3	真性赤痢 (アメーバ)	中央区の48歳男性が1, 2ヶ月前から飲酒後粘血便があり, 6月8日入院, 組織診でアメーバ赤痢の診断。患者は10年前から妻子とは別居, 現在独身。	同僚26名中1名からランブル鞭毛虫検出, 25名(-)
2. 7. 6	真性赤痢	東区の70歳の男性が6月16日から26日までパキスタンに旅行, 26日より発熱, 水様便(灰白色)があった。28日一時軽快したが, 29日再度下痢発熱がひどくなり, 30日入院, サルモネラを目的に抗生剤を投与したが完治しないため再検査したところ, 赤痢様の菌が検出されたため7月5日当所に同定依頼があった。6日 <i>S.dysenteriae</i> 7に決定した。	同行者1名(-) 家族1名(-) 接触者4名(-)
2. 8. 11	真性コレラ	博多区の39歳の男性が商用(輸入雑貨商)で7月29日から8月4日までマルラに出張(妻, 子1人同行)4日夜生カキ, 生水等喫食した。5日ホンコン経由で帰国, 6日より下痢があり, 10日大分市内の病院に受診, 11日 <i>V.cholerae</i> 01が検出された。	同行者2名のべ4件(-) 家族1名のべ2件(-) 接触者1名(-)
2. 9. 10	真性赤痢	中央区の31歳男性(眼科医)が, 8月28日から9月4日までトルコ, ギリシアに旅行, 3日より腹痛, 水様下痢があり7日感染症センターへ受診, 10日 <i>S.dysenteriae</i> が検出された。	接触者1名(-)
2. 9. 21	真性コレラ	9月13日から17日までのホンコンツアー参加者から <i>V.cholerae</i> 01検出の連絡。	同行者7名のべ21件中1件よりカンピロバクター検出, 20件(-)
2. 10. 13	真性赤痢 (アメーバ)	太宰府市の30歳男性が9月中旬から下痢があ通院治療していたが改善せず, 10月8日潰瘍性大腸炎の疑いで入院, 11日検便でアメーバを確認。	同僚17名中1名より異形吸虫卵検出, 16名(-)
2. 10. 20	真性赤痢	10月上旬ジャカルタに遠征したテニス選手のうち1名から赤痢菌が検出されたため, 同行者(国体で来福中)に検査依頼。	同行者1名(-)
2. 10. 22	赤痢疑い (海外旅行者)	中央区の23歳の女性が10月18日から22日までシンガポールに旅行し, 21日より腹痛, 下痢があり下痢止めを服用した。22日病院受診後来所。	本人(-)
2. 10. 31	真性チフス	南区の22歳男子大学生が9月6日から10月14日までインドに旅行し, 9月12日から22日まで水様下痢があった。10月24日頭痛のため近医を受診, 投薬を受けたが, 軽快しないため29日感染症センター受診, 血液培養をした。30日, 同センターに収容し31日血液より <i>S.Paratyphi</i> Aが検出された。	接触者4名(-)
2. 11. 21	真性赤痢	群馬県で発生した真性赤痢の接触者の検査依頼	接触者1名(-)

受付日	届出区分	概要	検査成績
2. 11. 22	真性赤痢	早良区の24歳の主婦が11月9日から12日まで韓国に旅行し、11日夜から下痢、腹痛、発熱があり、21日 <i>S.sonnei</i> が検出された。22日、東区に住む患者の母親（11月7日から10日まで韓国旅行）が来所11日より下痢があり、風邪として通院治療中のことで、検便の結果24日 <i>S.sonnei</i> が検出された。	同行者1名（-） 接触者2名（-）
2. 12. 11	赤痢疑い （海外旅行者）	早良区の40歳の男性が11月27日から12月1日迄韓国旅行し、屋台で生ものを喫食した。翌日から23日胃の調子が悪かった。12月10日から水様下痢が始まったので相談に来所。	本人（-）
3. 1. 23	真性コレラ	1月16日から20日までのインドネシア、シンガポールツアーに参加した愛知県の男性から <i>V.cholerae</i> 01検出の連絡。	同行者1名のべ2件（-）
3. 1. 23	真性赤痢	南区の26歳の女性が、1月17日から20日までのA旅行社主催のバリ島ツアーに参加し、21日未明から腹痛、発熱、下痢を訴え感染症センターに入院、23日、 <i>S.sonnei</i> が検出された。	同行者3名中1名より毒素原性大腸菌（ST+, LT+, UT）検出、1名より <i>P.shigelloides</i> 検出、1名（-） 患者家族3名（-） 接触者32名（-）
3. 1. 23	真性赤痢	東区の28歳の女性が、1月17日から20日までのB旅行社主催のバリ島ツアーに参加し20日より嘔吐、下痢、発熱を訴え感染症センターに入院、23日 <i>S.sonnei</i> が検出された。同行した家族（夫、子供）は21日感染症センターで検査した結果（-）。同行者を調査したところ、博多区の1名から25日 <i>S.sonnei</i> が検出され、1名が疑似赤痢で収容されたが毒素原性大腸菌が検出された。西区では、1名から <i>S.sonnei</i> および <i>Salmonella</i> 03、10群が検出され、同行した妻、子供3名が疑似赤痢で収容された。	同行者12名のべ17件中 1件から <i>S.sonnei</i> 検出、 1件から <i>S.sonnei</i> , <i>Salmonella</i> 03, 10群検出、 1件から <i>Salmonella</i> 03, 10群検出 2件から毒素原性大腸菌（LT+, UT）、同（ST+, UT）検出、 1件から病原大腸菌（0126）検出 11件（-）、接触者8名（-） 疑似赤痢患者家族1名（-） 疑似赤痢患者接触者62名（-）
3. 1. 27	真性赤痢	南区の男性が1月18日から23日まで、8名でバリ島に旅行し、23日より下痢があり、24日感染症センター受診、26日 <i>S.flexneri</i> 6検出された。	同行者7名中1名から毒素原性大腸菌（LT+, UT）検出、6名（-）患者家族3名（-）、接触者10名（-）
3. 1. 28	赤痢疑い （海外旅行者）	城南区の39歳の女性がバリ島に旅行し、症状はないが、赤痢の報道を見て心配になり来所。	本人（-）
3. 1. 29	同上	西区の女性、以下同上。	本人（-）
3. 1. 31	真性赤痢	浮羽郡の62歳の男性が1月20日から24日までのバリ島ツアーに参加し、27日より下痢があり、30日 <i>S.boydii</i> が検出された。	ツアー添乗員1名（-）

受付日	届出区分	概要	検査成績
3. 2. 1	赤痢疑い (海外旅行者)	中央区の22歳の女性が1月28日から31日までタイ旅行し、31日より腹痛、下痢があった。同行者が検疫所で検査を受けた際、来所を勧められた。	本人から <i>Salmonella</i> 08群 (2血清型) 検出。
3. 2. 21	真性赤痢 (アメーバ)	博多区の34歳の男性、昨年8月頃から時々血便があったが、放置していたら1ヶ月ほどで治まった11月末、再び血便があったので近医を受診、大腸ファイバーで軽度のピランを認めたと治療はしていない。本年1月より再び血便が続き、再度大腸ファイバー実施、2月18日アメーバ赤痢と診断された。	接触者1名 (-)
3. 3. 1	赤痢疑い	東区の30歳の男性、2月27日頃から下痢、悪寒があり、3月1日血便となったため中央区の病院を受診、来所するよう指示された。	本人 (-)
3. 3. 25	真性赤痢	東区の男子大学生が、タイ、マレーシアに旅行後検疫所で <i>S. sonnei</i> 検出の連絡。	接触者1名 (-)
3. 3. 25	赤痢疑い (海外旅行者)	早良区の24歳の男性が3月7日から24日までインドネシアを旅行し、旅行中下痢をしたので心配になって来所。	本人より病原性大腸菌 (018) 検出
3. 3. 27	チフス疑い (海外旅行者)	西区の男性が2月4日から3月4日まで台湾で仕事をした際、チフスの疑いのあるインドネシアの人と接触したので、症状はないが心配になって来所。	本人 (-)
3. 3. 28	真性赤痢	大分県の66歳の男性が3月18日から23日までの台湾ツアーに参加、22日転倒して病院を受診、水分を摂取した。23日より下痢、発熱、嘔吐があり、帰国後直接入院治療したが、症状が治まらず26日検便、28日 <i>S. flexneri</i> lb が検出された。	同行者3名 (-) 患者家族1名 (-) 病院内接触者46名 (-)